

日能研		5年							
		算数							
学習内容		14回 通過算・時計算 15回 図形上の点の移動 16回 立体図形の性質と体積・表面積							
家庭学習 ポイント	第14回「時計算・通過算」、第15回「図形上の点の移動」、第16回「立体図形の名称と体積」です。前月からの「速さ」(全5回)を3週で終えます。冬期講習は9月～12月に扱った比、速さ、平面図形、場合の数や規則性の復習です。14回「通過算・時計算」はちょっと毛色の変わった2つの文章題と感じられるかもしれませんが「図を書くことが必須」という意味では共通点のある速さに関する文章題です。通過算では列車の図を書き、その1点（多くの場合は2つの列車の最も離れた点）に印をつけ、その印が出会う／追いつくことを考えるのが最大のポイント。時計算では「2時と3時の間で...」とあれば、2時の時計の図を書き、長針と短針が何度離れているのかを確認するところがスタートですね。15回「図形上の点の移動」についても図示は必須で、問題の図に書き込むだけでなく、自分で図を書くことも習慣にしましょう（問題の設問が多い場合など、1つに図に書き込むのはミスのもととなります）。16回「立体図形の性質と体積・表面積」は「解き方は正しいのに計算が合わない」が続出する単元です。「1問を解き切るまでの集中力」を意識して取り組みましょう。								
課題の把握と解決策	チェック1	通過算では列車の図を書き「最も離れた点」に印をつけていますか？	チェック						
	解決策	この1点を考えることで、列車の長さを考える必要がなくなります	<input type="checkbox"/>						
	チェック2	時計算では時計の図を書いていますか？	チェック						
	解決策	基本レベルの問題でもしっかり書くという習慣が「できる子」への近道だとお子さんにアドバイスを	<input type="checkbox"/>						
	チェック3	図形上を点が移動する問題では、小問ごとに自分で図を書いていますか？	チェック						
	解決策	「書いては消し...」がもっともミスを誘発する学習に1つです	<input type="checkbox"/>						
	チェック4	立体図形の表面積で、計算ミスを連発していませんか？	チェック						
	解決策	計算ミスや集中力だけでなく、分配法則など計算の工夫ができているかみてあげてください	<input type="checkbox"/>						
	チェック5	冬休みに力を入れて学習したい分野、単元は決まっていますか？	チェック						
	解決策	日能研の冬期講習はこれまでの総復習。まずはカリキュラムをチェックしてみましょう	<input type="checkbox"/>						
日能研		5年							
		国語							
学習内容		14回 情景と主題 15回 約束と感動① 16回 約束と感動②							
家庭学習 ポイント	「情景と主題」「約束と感動」と銘打ち、読解は詩・短歌・俳句などの韻文です。比喩をはじめ表現技法、主題の読み取りがメインとなります。短歌・俳句では、形式・句切れ・枕詞・切れ字なども学習します。韻文自体が入試に出ることは多くはありませんが、韻文の読解で必要とされる「映像化」の力の有無は、物語文の読解力を大きく左右します。そのため「詩は入試に出ないからできなくても良い」という考えは非常に危険です。短歌・俳句はお子さんにとって馴染みが薄く、文語も使われるので、お子さんが一人で復習するのは少し大変かもしれません、韻文は少ない言葉から情景を想像していく、いわゆる映像化の力を高める格好の材料となります。目の前に広がる情景を一つ一つ絵を描くように思い浮かべてみましょう。そこに色が付き、映像が動き出すと理解が深まります。匂いや音、感触まで再現できると理想的です。その上で作者の心情を考えていきましょう。知識項目で扱われる助詞・助動詞を見分ける問題は今後のテストで頻出です。理屈を完璧に覚える必要はありませんが、「れる・られる」「ない」「の」などの「見分け方」を身につけることが大切です。								
課題の把握と解決策	チェック1	詩でよく使われる繰り返し、比喩などの表現の効果が理解できていますか？	チェック						
	解決策	このような技法が使われる部分の裏には、作者の感動があると考えましょう	<input type="checkbox"/>						
	チェック2	短歌や俳句を読むとき、季節を感じながら読んでいますか？	チェック						
	解決策	季語以外にも季節を感じる手がかりはあります	<input type="checkbox"/>						
	チェック3	短歌や俳句を読むとき、「映像化」を行っていますか？	チェック						
	解決策	状況をありありと思い浮かべる練習は、物語文の読解にも役立ちます	<input type="checkbox"/>						
	チェック4	テストの直しは順調にできていますか？	チェック						
	解決策	ためてしまわないように、返却されたらすぐにやっておきましょう	<input type="checkbox"/>						
	チェック5	冬休みに力を入れて学習したい分野、単元は決まっていますか？	チェック						
	解決策	日能研の冬期講習はこれまでの総復習。まずはカリキュラムをチェックしてみましょう	<input type="checkbox"/>						

日能研					5年				
					理科				
学習内容					14回 電磁石 15回 ばねとてこ 16回 音の伝わり方				
家庭学習 ポイント					12月は「電磁石」「ばねとてこ」「音の伝わり方」と物理分野が続きます。「電磁石」では、前回の「電流と磁界」に続いて具体的な電磁石の仕組みと性質について学習します。まず「右ねじの法則」を理解して受け入れ、電磁石の仕組みを理解しなければ先へと進めません。前回と同じように右手を使い、電流の向き（親指以外の4本の指の向き）から電磁石のN極ができる方向（親指の向き）を判別する作業ですが「ついうっかり」左手を使わないように気をつけなければなりません（特に右利きのお子さんは、右手に鉛筆を持って問題を解いているので、この「ついうっかり」が出ることがあります）。また「強い電磁石を作る方法」も入試頻出です。電磁石の強さを変える条件とそうでない条件を切り分けて考えることが必要です。「てことばね」では力学計算全般を学習します。まず図の中にかかる力の向きや大きさを書き込む習慣をつけることが大切です。計算の手順（モーメント計算・比例計算）をしっかりと守ることもポイント。「音の伝わり方」では音の三要素を、身近な現象と結びつけて理解しておくことを心がけましょう。				
課題の把握 と解決 策	チェック1				電磁石のN極ができる部分を右手を使って確かめられますか？		チェック		
	解決策				考え方は難しくありません。つねに4本の指の向きが電流の向きですね		<input type="checkbox"/>		
	チェック2				てこの問題では、図の中にかかる力の向きや大きさを矢印で書き込んでいますか？		チェック		
	解決策				この習慣のあるなしで、ミスの数が大きくかわります		<input type="checkbox"/>		
	チェック3				ばねの問題では「自然長・のびの長さ」を書いて整理していますか？		チェック		
	解決策				いちいち問題の本文戻って条件を確かめていると時間のロス、ミスの原因になります		<input type="checkbox"/>		
	チェック4				音の高低が振動数によって決まることが「実感」できていますか？		チェック		
	解決策				自動車や飛行機の速度（＝エンジンの回転）が上がると音が高くなるなど経験時に指摘しましょう		<input type="checkbox"/>		
	チェック5				「ドップラー効果」について「どのように聞こえるか」言葉で説明できますか？		チェック		
	解決策				こちらも、救急車のサイレンが通り過ぎた途端に低くなることを、経験時に指摘しましょう		<input type="checkbox"/>		
日能研					5年				
					社会				
学習内容					14回 西洋文明の吸收 15回 権利を求める民衆 16回 太平洋戦争中の人々				
家庭学習 ポイント					12月は「西洋文明の吸收」で幕末と明治維新、「権利を求める民衆」で明治時代の後半と戦争、そして大正時代を学びます。最後に「太平洋戦争中の人々」を経て、冬期講習に続きます。江戸後期から近代に進み、非常に複雑な時代に突入します。「本科教室」の本文はこの複雑な時代を分かりやすく解説してくれていますが、これを読んだだけで内容を理解できるお子さんは多くはありません。明治から昭和にかけての複雑な時代をきれいに解説してくれている「本科」と、暗記ツールとしての「栄冠への道」を、どれだけ行ったり来たりできるかがポイントです。また、難関校の受験を検討されている場合、「オプション」の内容も重要です。一人で学習するのは厳しい内容ですので、親御さんと一緒に考えられるといいですね。また、本科と栄冠を用いた学習だけではなかなか覚えられないのが年号です。明治以降の近代史は重要事項が多すぎて、年号暗記なしで乗り切るのは困難です。語呂合わせなども活用して積極的に覚えていきましょう。冬期講習はここまで復習ですので、歴史の大きな流れをとらえなおすチャンスです。				
課題の把握 と解決 策	チェック1				江戸幕府末期からの「流れ」をしっかり理解して学習していますか？		チェック		
	解決策				尊王攘夷運動～明治維新～富国強兵・文明開化といったKWに起こったことを結びつけましょう		<input type="checkbox"/>		
	チェック2				自分で年表にまとめて学習が進められていますか？		チェック		
	解決策				江戸末期～明治時代にかけては、日本史上もっとも激動の時期です。年表で流れを理解しましょう		<input type="checkbox"/>		
	チェック3				1867年、1869年、1871年といった超重要年号は押さえられていますか？		チェック		
	解決策				1867年＝大政奉還、1869年＝版籍奉還、1871年＝廃藩置県ですね		<input type="checkbox"/>		
	チェック4				ルーティンの学習に地理を組み込んでいますか？		チェック		
	解決策				特に地理が苦手だったお子さんは、長期間放置すると大変です		<input type="checkbox"/>		
	チェック5				歴史学習の「スタイル」を確立できていますか？		チェック		
	解決策				明治時代以降こそ「因果関係で流れを掴む」学習法が効果を生み出します		<input type="checkbox"/>		